

個別施設計画様式(参考)

策定年月日 2020/11/30

1 対象施設・施設概要					
施設情報					
施設名称	宮城県立精神医療センター	所管所属名称	地方独立行政法人宮城県立病院機構 (医療政策課)		
公共施設等総合管理方針施設分類					
大分類	公共用施設	中分類	地方独立行政法人施設	小分類	病院
主要建物概要					
構造	鉄筋コンクリート	用途	病院	建築日	昭和55年10月31日
経過年数	40年(本館)	耐用年数	39年	目標使用年数	50年
運営方式	直営	管理者名称	地方独立行政法人宮城県立病院機構	全延床面積(㎡)	14,856.11
所在地	宮城県名取市手倉田字山無番地				
2 計画期間					
計画期間は令和3年度から令和4年度までの2年間(第3期中期計画期間(令和元年度～令和4年度)の終期まで)とする。その後、第4期中期計画(令和5年度～令和8年度)策定に併せて、令和4年度中に当計画を更新する。					
3 点検・診断によって得られた個別施設の状態					
別添「定期調査報告書」のとおり					
4 当該施設の必要性					
設置根拠規定等	地方独立行政法人法第7条		必要性の有無	有	
業務内容	公立病院の運営				
必要性の判断理由	宮城県立精神医療センターは、民間病院では対応が困難な多様な精神疾患へ対応するとともに、宮城県地域医療計画に基づき、関係機関等と連携を図りながら精神科救急システムの24時間運用における中心的役割を果たしていることから、施設の必要性は高い。				
5 施設ごとの今後の対策					
管理に関する基本的な考え方を踏まえた施設の管理方針	宮城県立精神医療センターは、病院建設後約40年となり、開設当初から更新をしていない設備機器も多数あることから、今後計画的な更新工事、修繕工事を行っていく必要がある。 一方で、県の実施した県立精神医療センターのあり方検討会議の検討結果には、「隔離室・個室不足は構造的な問題であり、併せて施設の老朽化が著しいことから早急に建替すべきである」といった結論がなされたことから、現在県と連携し候補地の選定などに努めているところである。そのため、精神医療センターの修繕工事は、新病院建設移転までの期間も考慮し、必要な修繕工事を実施していく必要がある。 なお、建替が喫緊の課題となっているところであるが、目標使用年数は、宮城県公共施設等総合管理方針における推計条件を準用し、法定耐用年数の30%増とする。				
施設間・対策間の優先順位の判断内容	精神医療センター本館部分等については、建設後約40年が経過し、器械・電気設備などについては耐用年数の15年を大幅に超過して使用しているものも多く、経年劣化が進行している。 第3期中期計画期間(令和元年度～令和4年度)においては、大規模修繕事業の実施のため、4年間で総額700,000千円の修繕予算措置を頂いた。これまでの工事では、空調機器などをメインに修繕工事を実施し、患者療養環境の維持に努めたが、令和3年度以降は、引き続き空調関係の工事を進めるとともに、ボイラ制御機器・空調ポンプなどの経年劣化が進んだ設備や、診療報酬改定に伴う病室改修工事などを実施し、療養環境や経営面も考慮したうえで必要な工事を実施していく。				
6 対策内容、時期及び概算費用					
別添「宮城県立精神医療センター短期保全計画(第3期中期計画)」のとおり					
7 財源内訳					
借入金(転貸債)等					

宮城県立精神医療センター 短期保全計画(第3期中期計画)

(単位：千円)

番号	区分	場所	内容	R 3 年度	R 4 年度	合計	建築・ 購入年度	耐用年数
1	空調 電気	本館	精神医療センター大規模修繕工 事（空調・厨房棟等）※繰越分	294,950		294,950	S 55	15年
2	機械	本館	ボイラ制御機器改修工事	4,895		4,895	S 55	15年
3	空調	本館	リハ棟エアコン更新工事	12,870		12,870	S 55	15年
4	空調	本館	ソーシャル棟エアコン工事	3,509		3,509	S 55	15年
5	電気	本館	病棟乾燥室パネルヒーター設置 工事	1,973		1,973	S 55	15年
6	機械	本館	空調ポンプ等更新工事	12,974		12,974	S 55	15年
7	建築	本館	救急病床60床化改修工事	44,000		44,000	S 55	39年
8	その他	本館	その他工事 (中期計画予算内で、必要とさ れる工事を実施)		19,800	19,800		
合計				375,171	19,800	394,971		